

産婦人科この1年

産婦人科医長 北村 晋逸

産婦人科は、平成19年3月にて10年間の長い年月を精力的に勤められた川村診療部長が退職されました。また森医師も同時期にて退職、4月より高橋、川村の2名の医師を迎え、北村、宮川の4名体制を維持し診療を行いました。

医師集約の波、医局・関連病院の再編は今も進行中であります。その中で4名体制が維持され道北の基幹病院また研修施設としての役割を果たす責任を感じています。

診療内容では、分娩数は前年を50件程下回るペースのようです。少子化は着実に進んでいます。集約されつつも今後分娩は年間500件ほどの状況が続くと予想されます。

婦人科診療は、手術件数は微増傾向でした。年間300件前半の総手術件数中、約半数の150件ほどが婦人科手術です。その半数の70～80件の内視鏡下手術を行っています。悪性腫瘍についても極力当院で対応できるよう努めていますが、旭川・札幌の専門医・病院を希望される方も少なくはありません。緩和ケアも含め連携を強めたいと感じています。

学会、研究会の発表にも研修医も含め努めています。昨年も5題の発表を行いました。

最後に、この地で産婦人科診療が安定して行われるよう努めること、そのためにスタッフの理解・協力を得ることが私達の最大の責務であると考えています。